

2024	日	本
産	第59回	業
広	告	賞

参加要項





第59回 日本産業広告賞のご案内

日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。

59回目に当たります今回の日本産業広告賞も本賞制定の目的達成に向けて更に前進するため、新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の参加作品を広く募ることにいたしました。

時代のスピードに対応しつつも、時として厳しい経済環境に直面している産業界で、企業理念の発露として、またマーケティング活動の一環として、産業広告がその役割を十分に発揮する必要性が高まっております。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第59回 日本産業広告賞

《新聞部門》

〔日刊工業新聞〕

日刊工業新聞広告大賞

本社賞／楯、海外研修招待

- 第1部—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金30万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
- 第2部—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金25万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金15万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金8万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
- シリーズ広告賞—————第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金30万円、海外研修招待
第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待
第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円、海外研修招待
佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー
※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞／賞状・記念品

《雑誌部門》

第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(3点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞／賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞／賞状・記念品

《情報誌部門》

第1席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金20万円、海外研修招待

第2席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金15万円

第3席(1点) 本社賞／賞状・トロフィー・賞金10万円

佳作(2点) 本社賞／賞状・賞金3万円、産業団体賞／トロフィー

奨励賞(若干点) 本社賞／賞状・記念品

※特別賞に該当する場合(若干点) 本社賞／賞状・記念品

新聞部門参加規定

- 応募要領—————ひろく産業界を対象とした広告で新聞部門は日刊工業新聞(全国版)への掲載をもって参加資格といたします。
なお応募点数についても制限はありません。
- 審査対象—————〔日刊工業新聞〕
《日刊工業新聞広告大賞》新聞部門の第1部、第2部、シリーズ
広告賞の第1席入席作品を対象とする。
《第 1 部》スペース15段以上を対象とする。
《第 2 部》スペース2.5段以上15段未満を対象とする。
《シリーズ広告賞》スペース制限なしで、3点以上を対象とする。
- 掲載期間—————2023年9月18日(月)～2024年9月20日(金)
- 入賞発表—————2024年11月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。
- 注意事項—————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。
●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。
●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。
●カラー作品については、掲載日の調整をお願いすることがあります。
※同一図案のフルカラー作品とモノクロ作品を新聞部門に応募する場合はどちらか一方の作品のみ応募を認めます。
※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

雑誌部門参加規定

■応募要領 ————— ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の月刊誌5誌に掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。

なお応募点数についても制限はありません。

■掲載雑誌 ————— プレス技術・機械設計・機械技術・型技術・工場管理

■審査対象 ————— 1 頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■掲載月号 ————— 2023 年 10 月号～2024 年 9 月号

■入賞発表 ————— 2024 年 11 月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■注意事項 ————— ●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●5 誌の同月号に同じ作品を 2 誌以上掲載する場合は、発行日の早い雑誌のものを参加作品とします。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●カラー(4 色)広告のポジ合成は 2 点以内。

●広告原稿は、データ入稿を原則とします。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

情報誌部門参加規定

■応募要領————ひろく産業界を対象とした広告で、日刊工業新聞社発行の「新製品情報」誌への掲載をもって参加資格といたします。とくに業界、業種についての制限はありません。なお応募点数についても制限はありません。

■審査対象————4/4 頁以上(表紙・挿込みを含む)。

■掲載月号————2023 年 10 月号～2024 年 9 月号

■入賞発表————2024 年 11 月上旬の日刊工業新聞紙上にて発表。

■注意事項————●参加作品の掲載時には必ず日本産業広告賞「参加申込書」を提出して下さい。

●参加作品は出稿契約枠外の臨時出稿といたします。

●メーカー、販売店などとのタイアップ広告の場合はいずれか一社名でお申し込み下さい。

●参加作品に模倣などの事実が判明したときは、参加資格および入賞を取り消します。

●広告原稿は弊社の仕様書に沿って完全データで入稿して下さい。出力見本を必ず 2 枚添付して下さい。

※同一企業が同一内容の作品を各部門にわたって応募され、審査の結果、複数部門で入席した場合は、原則として上位席次作品を入席とします。

審査委員／表彰式

審査委員長
早稲田大学 商学学術院教授
嶋村和恵

東京コピーライターズクラブ会長
谷山雅計

専修大学 経営学部教授
石崎徹

青山学院大学 経営学部教授
芳賀康浩

東京工芸大学 名誉教授
福島治

日本工作機械工業会 専務理事
柚原一夫

日本産業機械工業会 代表理事・専務理事
秋庭英人

一般社団法人日本電機工業会
専務理事
中嶋哲也

旭化成株式会社 広報部長
坂元善洋

NEC
マーケティングビジネスパートナー統括部
統括部長
戸田淳

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
ブランドコミュニケーション本部
メディア戦略部 部長
北島由美子

株式会社クボタ
KESG推進部 担当部長
廣瀬文栄

コマツ
ブランド戦略事業部 部長
木村幸

株式会社スギノマシン
代表取締役副社長
杉野岳

パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社
コーポレート・コミュニケーションセンター所長
深尾祐紀子

日立建機株式会社
理事 ブランド・コミュニケーション本部長
久保達哉

富士フイルム ビジネスイノベーション株式会社
宣伝部 部長
朝倉孝幸

富士通株式会社
グローバルマーケティング本部 コーポレートマーケティング統括部
ブランド戦略部メディアエキスパート
白石陽太郎

エフサステクノロジーズ株式会社
インフラサービス部門 業務推進統括部
シニアディレクター
出口拓夫

三木プリー株式会社
会長
三木治一

三菱電機株式会社
宣伝部 新規プロジェクト担当部長
桑畑一浩

株式会社安川電機
取締役 上席執行役員
東京支社長
森川泰彦

日刊工業新聞社
小原敏永

日刊工業新聞社
拝原泰介

日刊工業新聞社
宇田川勝隆

(順不同 敬称略)

■**審査**———上記審査委員による「日本産業広告賞審査委員会」で厳正に行われます。産業広告としての明確なコンセプト、訴求力、アイデア、デザイン、コピーを勘案して総合的に審査します。

■**表彰式**———2024年11月中旬、東京都内のホテルにて新聞部門、雑誌部門、情報誌部門の関係者の出席により、第59回日本産業広告賞の表彰式を執り行います。

■**その他**———●本賞の詳細について、また応募にあたってのお問い合わせは本社、支社の係までご連絡ください。

前回の受賞作品

《新聞部門》

次なる挑線。



パナソニックのフィラメントは
形を変えて輝き続ける。

白熱電球のフィラメントは、従来として長年使った
タングステン製電球、高圧電球への対応が求められ
た。その課題を克服するため、「タングステン極細線」
という新たな可能性を求めました。それは、従来とは
異なり、細く、しなやか、強さを求めると、曲げや折れに
くわ対応した金線、タングステン極細線、細い金線
でできる新構造の電球、高圧電球の電球を実現するメッシュなど、
様々な用途に使用できる可能性を秘めています。

細く、しなやか、なめに強い

直径	長さ	重量
11 μ m	3,750 MPa	36.3 g

パナソニックの
タングステン極細線



パナソニック株式会社 東京支社 2F 2F-201 室

Panasonic

第1部 第1席 全30段 連版

日刊工業新聞広告大賞

リサイクルにふさわしいかどうかは、
指紋をみれば、わかります。

HITACHI
Inspire the best



使用後のPETボトルの劣化状態を、偏光指紋で分析する。

※PETボトルは、使用後に日光や熱による劣化が進行し、強度が低下します。劣化したPETボトルは、リサイクル時に問題が生じる可能性があります。劣化状態を分析することで、適切なリサイクル方法が選択できます。

偏光指紋の解決は、
「見る・測る・分析する」
ことから始まります。

日立ハイテク

使用後のPETボトルの劣化状態を、偏光指紋で分析する。

※PETボトルは、使用後に日光や熱による劣化が進行し、強度が低下します。劣化したPETボトルは、リサイクル時に問題が生じる可能性があります。劣化状態を分析することで、適切なリサイクル方法が選択できます。

紫外線照射したPETの偏光指紋データ

日立ハイテク

日立ハイテク

日立ハイテク

日立ハイテク

日立ハイテク

日立ハイテク

日立ハイテク

環境負荷の少ない新素材の付加価値は、
食べた光で分析します。

HITACHI
Inspire the Next

原子が吸収した光で、新素材の顕微鏡を測ります。

材料の成分や構造を調べるには、材料の原子が吸収した光を分析する必要があります。吸収した光の成分や構造を調べるには、材料の原子が吸収した光を分析する必要があります。吸収した光の成分や構造を調べるには、材料の原子が吸収した光を分析する必要があります。

環境荷の軽減は、
「見る・測る・分析する」
ことから始まります。

日立ハイテク

グラフアレイを用いたCNF中のAg分析

Ag concentration (ppm)	Ag concentration (ppm)
0.1	0.1
0.5	0.5
1.0	1.0
5.0	5.0
10.0	10.0

ZA3000

日立ハイテク「環境負荷の少ない新素材の付加価値は、食べた光で分析します。」

株式会社 日立ハイテク

〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1 日立ビルディング株式会社 10F

TEL: 03-6257-8100 FAX: 03-6257-8101 E-MAIL: info@hitachi-hi-tech.co.jp

[illegible]

第1席 2頁×3

《情報誌部門》

ISC
INTERNATIONAL SYMPHONY COLLEGE

モノシずか



医療機器に、心やすまる静けさを
患者の安心、安眠の助け。

医療機器には患者さまの健康をよりよく守るため、
乳がん検診システムをはじめ、ベッドや椅子など生活必需品に採用して、イノベーション、
新たなサービスや製品を開発しています。モノづくりの最先端を担っています。

モノずこくスムーズ

モノづくり・サービス・ソリューション
NSK マイノリソリューションズ



モノのみこと

工作機械に、磨きそびえた精度を

加工技術の発展も、生産能力の向上も、
マシニングセンター製造技術がもたらすさまざまなアプリケーションは、現代社会の基幹技術の一つ。
製造現場に導入して設備の効率を高めよう。
工作機械のハイパフォーマンス向上を目指し、モノづくりの未来を支えてまいります。

モノづくりスームズ

エスエフエー・モノづくりソリューション
株式会社マイロプレザンション

[illegible]

第1席 4/4頁×4

《協賛経済・産業団体》

(予定・50音順)

日本アルミニウム協会
日本機械工業連合会
日本経済団体連合会
日本工作機械工業会
日本産業機械工業会
日本自動車工業会
日本商工会議所
日本生産性本部
日本鍛圧機械工業会
日本鉄鋼連盟
日本電気協会
日本電機工業会
日本BtoB広告協会
日本フルードパワー工業会
発明推進協会



本社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7310(直通)
東日本支社 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 ☎03(5644)7266(直通)
西日本支社 〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16 ☎06(6946)3351(直通)
名古屋支社 〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28 ☎052(931)6155(直通)
西部支社 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町1-1 ☎092(271)5716(直通)

<https://www.nikkan.co.jp>